

情報・システム研究機構教育研究評議会（令和2年度第3回）議事要旨

日 時：令和2年6月17日（水）10：00～12：00

形 式：Web会議

出席者：岡田清孝評議員、栗原孝次評議員、徳田英幸評議員、鳥海光弘評議員、ベントン・キャロライン評議員、藤井良一評議員（議長）、津田敏隆評議員、喜連川優評議員、椿広計評議員、坂口広志評議員、中村卓司評議員、花岡文雄評議員、藤山秋佐夫評議員、野木義史評議員（極地研）、相澤彰子評議員（情報研）、伊藤聡評議員（統数研）、仁木宏典評議員（遺伝研）

オブザーバー：鈴木久敏監事

陪席者：本部事務局・研究所事務担当者

議事に先立ち、議長より、本会の成立要件の確認があった。

また、議長より、新型コロナウイルスの対応に関して、在宅勤務をはじめとする勤務体制の整備について検討している旨及び研究プロジェクトを採択した旨が報告された。

さらに、前回評議会で指摘された、教育研究評議会の審議事項に予算関係を含めるか否かについて、研究を遂行するための予算であり、その内容が重要であるため、教育研究評議会でも審議することが確認された。

議 事：

【審議事項】

（1）就業規則等の一部改正について

坂口評議員より、資料1-1～1-2に基づき説明があり、審議の結果、経営協議会及び役員会にて審議することが了承された。なお、懲戒処分に関して、研究教育職員の選考等については各研究所に付託されているが、懲戒の審議については、選考等には含まれないことについて改めて確認された。また、軽微な修正については機構長一任とすることが併せて了承された。

<意見概要>

●ハラスメント相談について、対面での相談はリスクがあるので、苦情処理用のメールアドレスを設けて、周りの目を意識せずに申請できるといったハードルを下げる工夫をしようか。

→メールでの相談も可能となっているほか、一部研究所では機構外にも相談員を設けている。

●ハラスメント相談について、各研究所の相談員に直接相談する構造ではなく、常置委員会の下で中立的な人を窓口とすることで、匿名性が高まり、2次被害を防げるのではないか。

→大事なのは（2次）被害を受けずに相談出来るシステムを持つことであり、研究所をまたいだ相談体制も併せて検討していきたい。

●ハラスメントの研修において様々な講師を呼ぶのはどうか。
→現在、全職員に対して e-learning 研修を行っているが、相談員に対する研修は行ってないため、今後、検討していきたい。

●ハラスメント防止委員会における事情聴取やその後の報告の後に、異議を申し立てる機会はあるのか。
→研究所ごとの規程で定められているため、確認して回答する。

(2) 令和3年度(2021年度)概算要求(機能強化経費等)について

坂口評議員より資料2-1~2-4に基づき説明があり、審議の結果、経営協議会及び役員会にて審議することが了承された。また、軽微な修正については機構長一任とすることが併せて了承された。

(3) 令和3年度(2021年度)概算要求(施設整備事業)について

坂口評議員より資料3-1~3-3に基づき説明があり、審議の結果、経営協議会及び役員会にて審議することが了承された。また、軽微な修正については機構長一任とすることが併せて了承された。

(4) 4年目終了時評価の現況調査表について

津田評議員、各研究所長の評議員より資料4-1~4-7に基づき説明があり、審議の結果、経営協議会及び役員会にて審議することが了承された。また、軽微な修正については機構長一任とすることが併せて了承された。

<意見概要>

●南北両極の研究は今後も重要なので引き続き力を入れてもらいたい。女性の南極観測への参画は嬉しいし、チバニアンは大きな成果だと思う。
→南極、北極それぞれに難しさがあるが、極地研が両方の研究をまとめることが重要だと考えている。

●情報研が、大学の遠隔授業に関するシンポジウムを開いており、存在感が高まっている。また、オープンサイエンス基盤研究センターも研究データ等の整理に関してイニシアチブを取られている。引き続きこのようなリーダーシップを取っていただきたい。
→シンポジウムは、資料も講演録もオープンにしている。今後、授業形態の多様化やセキュリティの進化に対応していきたい。

●統計数理研究所の赤池ゲストハウスを活用した長期滞在研究者による研究の進展についても触れてはどうか。

→今年新型コロナウイルスの関係で参加が難しい状況だが、今後、若い研究者にも利用してもらえるような仕組みを考えている。

●遺伝研が ABS 対応の窓口になり、生物材料の国際的な移動に関する複雑な問題についてサポートをされていて大変有難い。今後もさらに活動を広げていってもらいたい。

→生物多様性の問題に関しては遺伝研のメンバーが国内外で積極的に取り組んでいる。今後も期待に応えられるよう発展させていきたい。

【報告事項】

(1) 教育研究評議会評議員からの提言とその対応状況

議長、椿評議員より資料5に基づき、昨年度開催された教育研究評議会で提言のあったものへの対応状況について報告があった。

(2) 研究教育職員に係る人事異動について

議長より資料6に基づき、研究教育職員の人事異動について報告があった。

(3) 外部評価報告のとりまとめについて

津田評議員より資料7-1、7-2に基づき、機構全体の概要の状況、教育研究支援活動、平成28年度外部評価の指摘事項への対応などの外部評価について報告があった。

<フリーディスカッション>

●今後、新しいものを作り上げていく際にデータサイエンスが大きなウェイトを占める。基盤だけではなく、他の分野への展開等を考えたほうがいいのではないか。

→第4期において、新しい分野を立ち上げた際に、機構が中心となり他の学術分野と連携して実現できるよう、動いていきたい。

●各研究所の取り組みを、国内だけでなく、世界に向けて発信していくべきではないか。

→非常に重要なことであるので、今後、検討していく。

(次回の教育研究評議会の日程について)

- ・ 次回の教育研究評議会は、2020年10月19日(木) 15:30から開催の予定。
- ・ 4年目終了時評価の報告書等について7月に書面審議を依頼予定。

以上

《配布資料》

- ・ 令和元年度第7回議事要旨
- ・ 令和2年度第1回議事要旨
- ・ 令和2年度第2回議事要旨(案)
- ・ 就業規則等の改正事項(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1-1】
- ・ 新旧対照表(就業規則等)(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1-2】
- ・ 大規模学術フロンティア促進事業等【総表】・・・・・・・・・・【資料2-1】
- ・ 機能強化経費「機能強化促進分等」【取引総表】・・・・・・・・・・【資料2-2】
- ・ 共通政策課題(基盤的設備等整備分)の概要・・・・・・・・・・【資料2-3】
- ・ 令和3年度概算要求に向けた相談について・・・・・・・・・・【資料2-4】
- ・ 令和3年度概算要求(施設整備事業)要求事項一覧表・・・・・・・・・・【資料3-1】
- ・ 令和3年度国立大学法人等施設整備事業の概算要求について・・・・・・・・・・【資料3-2】
- ・ インフラ長寿命化計画(個別施設計画)抜粋・・・・・・・・・・【資料3-3】
- ・ 学部・研究科等の現況調査表目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-1】
- ・ 現況調査表(国立極地研究所)・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-2】
- ・ 現況調査表(国立情報学研究所)・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-3】
- ・ 現況調査表(統計数理研究所)・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-4】
- ・ 現況調査表(国立遺伝学研究所)・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-5】
- ・ 現況調査表ガイドライン・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-6】
- ・ 評価実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-7】
- ・ 教育研究評議会評議員からの提言等とその対応状況等・・・・・・・・・・【資料 5】
- ・ 研究教育職員の人事異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 6】
- ・ 外部評価委員会による評価報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料7-1】
- ・ 「外部評価委員会による評価報告」における期待事項等の取りまとめ(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料7-2】